

2023 年度 J K A 補助事業に係る導入機器の評価について

【令和 5 (2023) 年 12 月 18 日 (月) 9 : 00 ~ 産業技術センター所長室】

- 1 参集者 関本所長、伊藤副所長、葦名副所長兼管理部長、松本副所長兼技術交流部長、坂本機械電子技術部長、宮間材料技術部長、小坂食品技術部長、関口繊維技術支援センター長※、渡部県南技術支援センター長※、諏訪紬織物技術支援センター長※、山越窯業技術支援センター長※
(※ : Microsoft Teams によるリモート参加)
- 2 導入した機器
 - (1) 樹脂埋込装置 (機械電子技術部)
 - ア 機種 樹脂埋込装置 : 株式会社ストルアス製 シトプレス-15
 - イ 購入先 株式会社アルファテック
 - (2) 示差走査熱量計 (材料技術部)
 - ア 機種 示差走査熱量計 : ネットジャパン株式会社製 DSC300Caliris Select P-module
 - イ 購入先 株式会社ユニオン
- 3 実施経過
令和 5 (2023) 年 5 月 29 日 銘柄指定委員会開催
7 月 28 日 一般競争入札実施
7 月 31 日 購入契約締結
10 月 30 日 納品、検収 (樹脂埋込装置)
11 月 8 日 納品、検収 (示差走査熱量計)
11 月 13 日 支払い (樹脂埋込装置)
11 月 20 日 支払い (示差走査熱量計)
- 4 現在までの使用状況
 - (1) 樹脂埋込装置
正副担当 2 名を配置し、運用を開始した。機器導入から約 1 ヶ月で、試験機器の新機能確認やマニュアル作成、機器の活用トレーニングに取り組み、企業からの依頼試験で 26 件利用した。
 - (2) 示差走査熱量計
正副担当 2 名を配置し、運用を開始した。機器導入から約 1 ヶ月で、試験機器の新機能確認やマニュアル作成、機器の活用トレーニングに取り組み、企業からの依頼試験や機器取扱研修等で 11 件利用した。
- 5 今後予想される波及効果
 - (1) 樹脂埋込装置
金属製品製造業等が当該機器を活用することで、異物混入や破損原因の調査及び新製品開発のための技術力の向上並びに製品の品質管理体制の強化が継続的に図られる。また従来の機器より大きいサイズの観察ニーズへの対応が可能となり、埋込時間も短縮され利便性が向上した。その結果、地域企業ならびに地域経済の継続的な活性化・発展に繋がることが期待できる。

(2) 示差走査熱量計

プラスチック製品製造業等が当該機器を活用することで、高性能なプラスチックの導入に必要な熱物性の情報に加え、新規な生分解性プラスチックやバイオマスプラスチック、リサイクル材の熱物性に関する知見が得られ、新製品開発のための技術力の向上並びに製品の品質管理体制の強化が継続的に図られる。また、急速に温度変化する環境下での熱特性の分析が可能なことから実用的な成形条件等の検討が可能となった。その結果、地域企業の活性化・地域経済の発展に繋がることが期待できる。

6 総括

県内中小機械金属・プラスチック製造業などのニーズの把握やそれに基づく機器仕様の検討について、本庁工業振興課と産業技術センターが連携して取り組んできた。これにより、交付決定後、速やかに銘柄指定委員会を開催し、機器仕様を決定することができた。機器の納入後、メールマガジンやホームページを活用した広報・周知を行っており、当該機器への問い合わせは増加している。今後、技術講習会や企業からの技術相談など、あらゆる機会を通じて今回導入した機器の周知を積極的に推し進め、十分な活用を図っていくこととする。